

2050年を見据えた東洋インキグループの価値創造

東洋インキグループは、目まぐるしく変化する経営環境に適応すべく、2027年を目標年とする長期構想 Scientific Innovation Chain 2027(SIC27)に取り組み、3年単位の中期経営計画を遂行しています。SIC27では「すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界」を提供価値として当社グループが持続的に成長し、その企業活動が社会の持続可能性の向上に寄与する姿をコンセプト「サステナブルグロース」として掲げています。そして、企業の持続的成長と社会の持続可能性向上の両立を目的とした5つの重要課題(マテリアリティ)を策定、中期経営計画と連動したサステナビリティ活動を進めています。

さらに、近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みに関するグローバルの動向、および企業に向けられた要請が活発化している社会状況に対応するには、SIC27や重要課題の先、より長期的な視野での取り組みが必要であると考え、2050年を見据えた当社グループのサステナビリティ活動の実践的な長期目標として、SIC27と密接に連動するサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定しました。

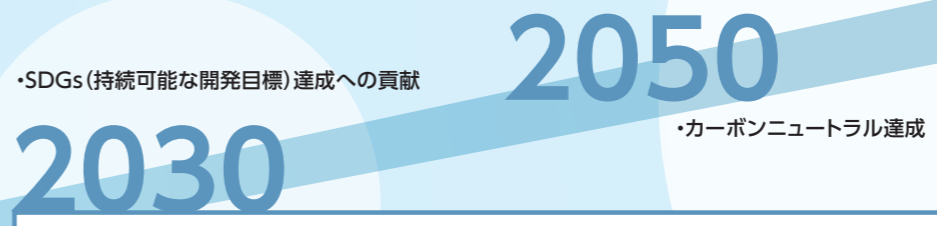
東洋インキグループのあるべき企業像

提供する全製品・サービスがサステナビリティに貢献

モノづくりにおける環境負荷が最小化

社会の持続可能性向上に寄与できる企業

あるべき姿を起点にバックキャストで方向性と目標を設定



サステナビリティビジョン「TSV2050/2030」	
TSV2030	TSV2050
1. 持続可能な社会を実現させる製品・サービスの提供	
<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ貢献製品売上高比率80% ライフサイクル視点でCO₂排出削減に貢献できる製品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> すべての製品をサステナビリティ貢献製品に お客様の脱炭素化に貢献
2. モノづくりでの環境負荷低減	
<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 国内35%削減(2020年度比) 海外35%削減(2030年度BAU比) 廃棄物外部排出量 国内50%削減(2020年度比) 有害化学物質排出量 国内30%削減(2020年度比) 	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動でのCO₂排出量を実質ゼロ、環境負荷を最小化 廃棄物の発生を最小化 持続可能な水利用を実現
3. 信頼される企業基盤の構築	
<ul style="list-style-type: none"> 環境・社会調和な原材料調達の実現 社員の多様性の尊重、自然・地域との共生 絶え間ないガバナンス体制の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン、人材・地域活動、ガバナンスを環境・社会貢献の視点で継続的に改革・変革

TSV2030の
具体的目標を反映させ
TSVと中期経営計画を連動

激変する経営環境に
適応すべく
長期構想を策定

より長期的な視野の
ビジョンを策定し
近年の社会状況に対応

バックキャストにより
マイルストーンでの中間目標を設定

TSV2050/2030は、2050年を目標年としてあるべき姿に至る方向性を示した「TSV2050」と、そのマイルストーンとして2030年にバックキャストした諸目標を示した「TSV2030」の2つからなります。

TSV2050は、提供する全製品がサステナビリティに貢献していること、カーボンニュートラルをはじめモノづくりにおける環境負荷が最小化されていること、社会の持続可能性向上に確実に寄与できる企業であることをあるべき姿として、さまざまな企業活動を推進するための基本的なビジョンです。一方TSV2030は、TSV2050の時間軸上のマイルストーンであるとともに、国連が提唱するSDGsの達成に向けた企業としての貢献を推進する中間目標です。TSV2050/2030は、当社グループのCSR、サステナビリティ、ESGに関するあらゆる取り組みのベースとなっています。

経営環境・社会状況 社会・環境課題

長期構想 Scientific Innovation Chain 2027(SIC27)

コンセプト 《サステナブルグロース》
提供価値 《For a Vibrant World》
すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界

SIC-I 2018～2020年度
SIC-II 2021～2023年度
SIC-III 2024～2026年度

新たな時代に貢献する生活文化創造企業を目指す

基本方針1 事業の収益力強化
基本方針2 重点開発領域の創出と拡大
基本方針3 持続的成長に向けた経営資源の価値向上(企業体質の変革)

▶▶▶P.23

中期経営計画と連動する5つの重要課題(マテリアリティ)

重要課題 1 お客様の期待を超える価値を提供し、社会に貢献する	重要課題 2 革新的技術を通じて環境と共生する	重要課題 3 サプライチェーンと共存共栄を図り、ステークホルダーの信頼に応える	重要課題 4 社員を大切に、幸せや働きがい追求する	重要課題 5 信頼を支える堅実な企業基盤を築く
-------------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------

▶▶▶P.33

トップメッセージ

東洋インキグループの価値創造

東洋インキグループの事業

ガバナンス

コーポレートデータ